



Q 子どもがゲームをしたいと言います。親はどう対応したらいいでしょう？



子どもをゲームで遊ばせる場合は、保護者がゲームの内容や使用時間について判断し、上手にコントロールしてあげることが大切です。

A 早くから習慣的にゲームをすると、その後のゲームへの依存度に影響が出る可能性があります。とはいえ、「お友だちと遊ぶのにゲーム機がほしい」といったご家庭もあるでしょう。

最初に、ゲームの内容が子どもの年齢に適正なものか保護者が判断し、使用時間などコントロールしてあげることが大切です。また、外遊びの時間を十分確保してあげることが大切です。



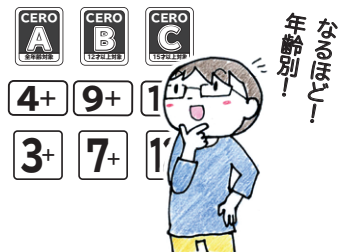
Q ゲームの内容が、子どもに遊ばせてもよいものかどうか、正しく判断するにはどうしたらいいですか？



ゲームソフトやアプリに表示されている「〇歳以上」という年齢区分マーク(レーティング)を活用しましょう。

A ゲームソフトやアプリには、「〇歳以上」という年齢区分マーク(レーティング)が表示されています。

ゲームの内容が子どもの年齢に見合ったものかどうか、使い始める前に保護者が判断してあげるとよいでしょう。



保護者がしてあげられること 年齢区分マーク(レーティング)の確認

POINT 1 全ゲームに対象年齢基準があります。市販のソフトはパッケージで、アプリはストア内の説明部分で対象年齢を確認し、子どもに合わせたものを選びましょう。



POINT 2 動画視聴の際には、安全で使いやすい子ども専用のアプリがあります。子どものスマホに導入し、活用すると良いでしょう。(例: YouTube Kidsなど)

